

嘉藤太河氏 (航空宇宙流体工学研究分野 M1) が進化計算シンポジウム 2015 にて「IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter Young Researcher Award」および「ベストポスター発表賞」をダブル 受賞 (2015 年 12 月 20 日)

嘉藤太河氏 (航空宇宙流体工学研究分野 M1) が、平成 27 年 12 月 19-20 日に愛知県西尾市で開催された進化計算シンポジウム 2015 にて、「IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter Young Researcher Award」および「ベストポスター発表賞」をダブル受賞いたしました。「IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter Young Researcher Award」は本シンポジウムで発表を行った 35 歳以下の発表者の中から論文審査および発表審査に基づき選考され、「ベストポスター発表賞」は本シンポジウムでポスター発表を行った発表者の中から投票により選出され、いずれも優れた発表者に対して授与されるものです。

論文題目: 冬季のスマートホームシステムにおける mCHP と EV の最適制御に関する研究
著者: 嘉藤太河, 下山幸治 (東北大学流体科学研究所),
江原由希子, 山田想, 國領喬 (本田技術研究所)

本論文の成果は、(株) 本田技術研究所汎用 R&D センターとの共同研究、および東北大学「最先端電池基盤技術コンソーシアム」事業の一環で得られたものです。



問い合わせ先: 東北大学流体科学研究所
下山 幸治
Phone/Fax: 022-217-5267
E-mail: shimoyama@edge.ifs.tohoku.ac.jp